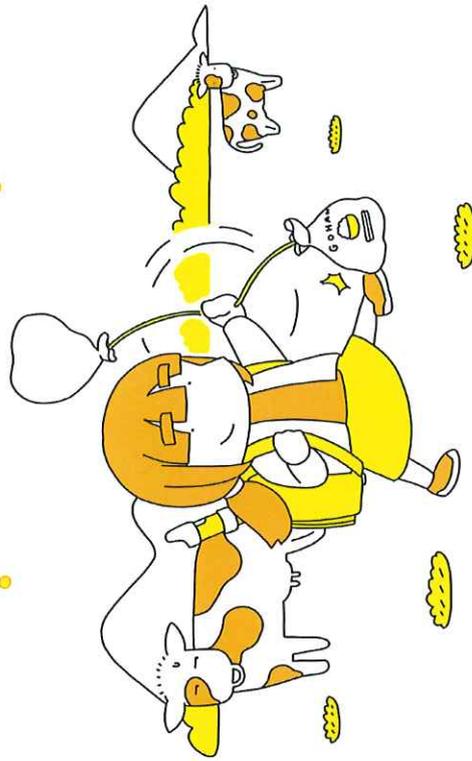


がっこうって どんどころだろう？

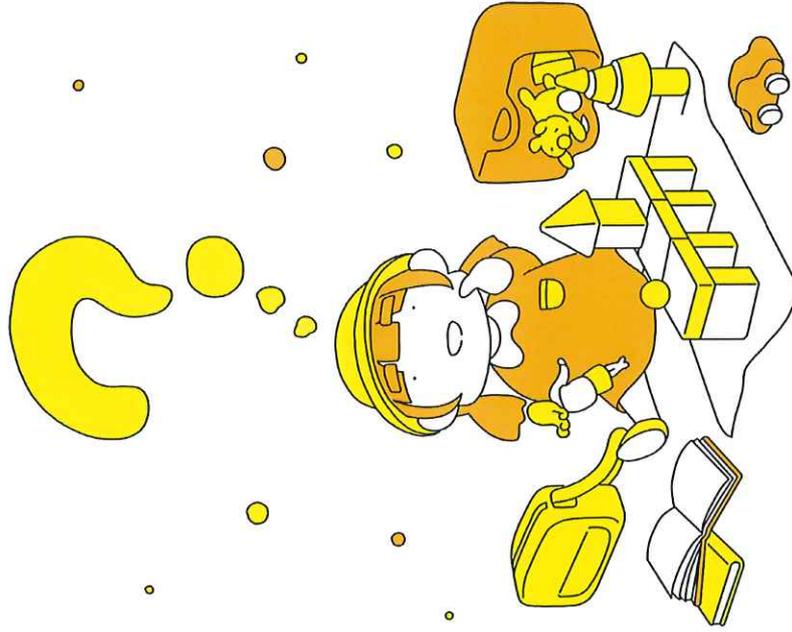


そうぞうしたら ワクワクして ねられない！  
はやく しょうがくせいになりたいな。

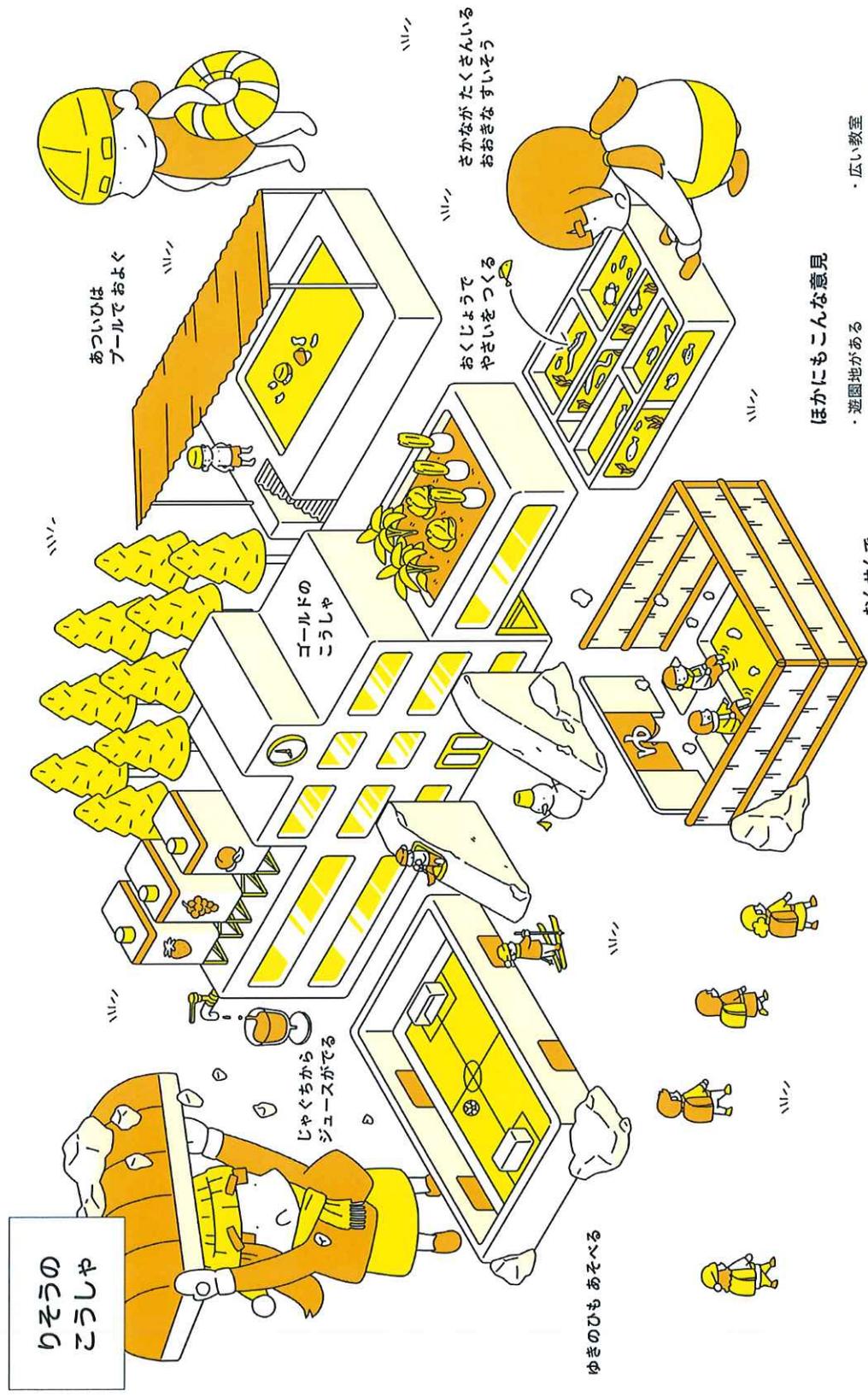
# こんばん がっこう あったらいいな



この冊子のストーリーは、  
中頓別小中学校の児童生徒のみなさんの  
アイデアをもとに構成しました。



はるから しょうがくいちねんせい。  
いったい がっこうは どんな ばしょなんだろう。



りそうの  
こうしゃ

じゃぐちから  
ジュースがでる

あついは  
プールでおよぐ

ゴールドの  
こうしゃ

おくじょうで  
やさいをつくる

さかながたくさんいる  
おおきなすいそう

ゆきのひも  
あそべる

おんせんで  
あつたまる

ほかにもこんな意見

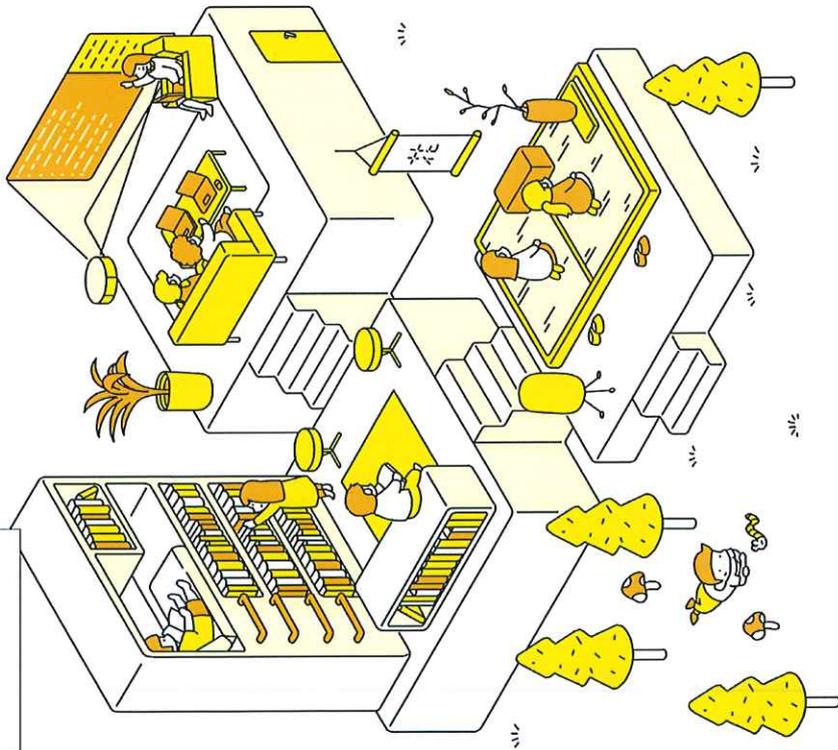
- ・遊園地がある
- ・お菓子でできた校舎
- ・カラフルな校舎
- ・季節ごとのがざりつけ

- ・広い教室
- ・とうめいな教室
- ・一人ずつの個室

あそべるばしょがあつたらいいな。  
ともだちやせんぱいとたくさんあそびたいな。

りそつ  
じゆぎよう

すぎなばしよで  
すぎなことをまなべたらいいな。

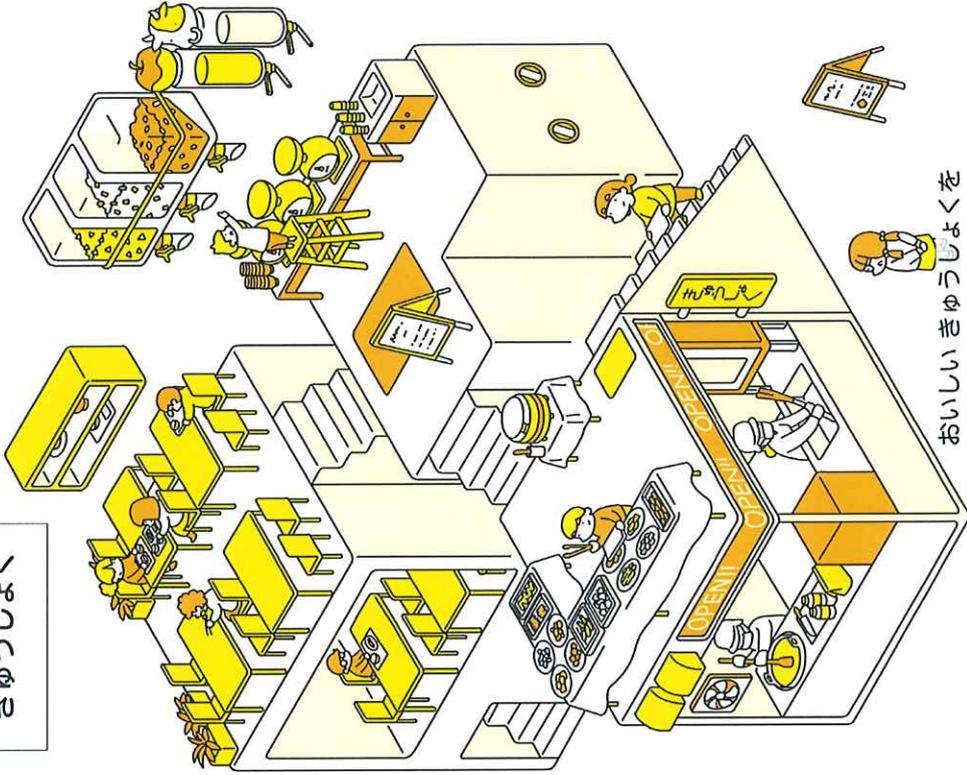


ほかにもこんな意見

- ・授業はなしで1日中休み時間だったらいい
- ・宿題がなかったらいい
- ・先生も選べたらいい

りそつ  
きゆうしよく

きゆうしよくはすぎなものえらんで  
すぎなものだけたべたい!

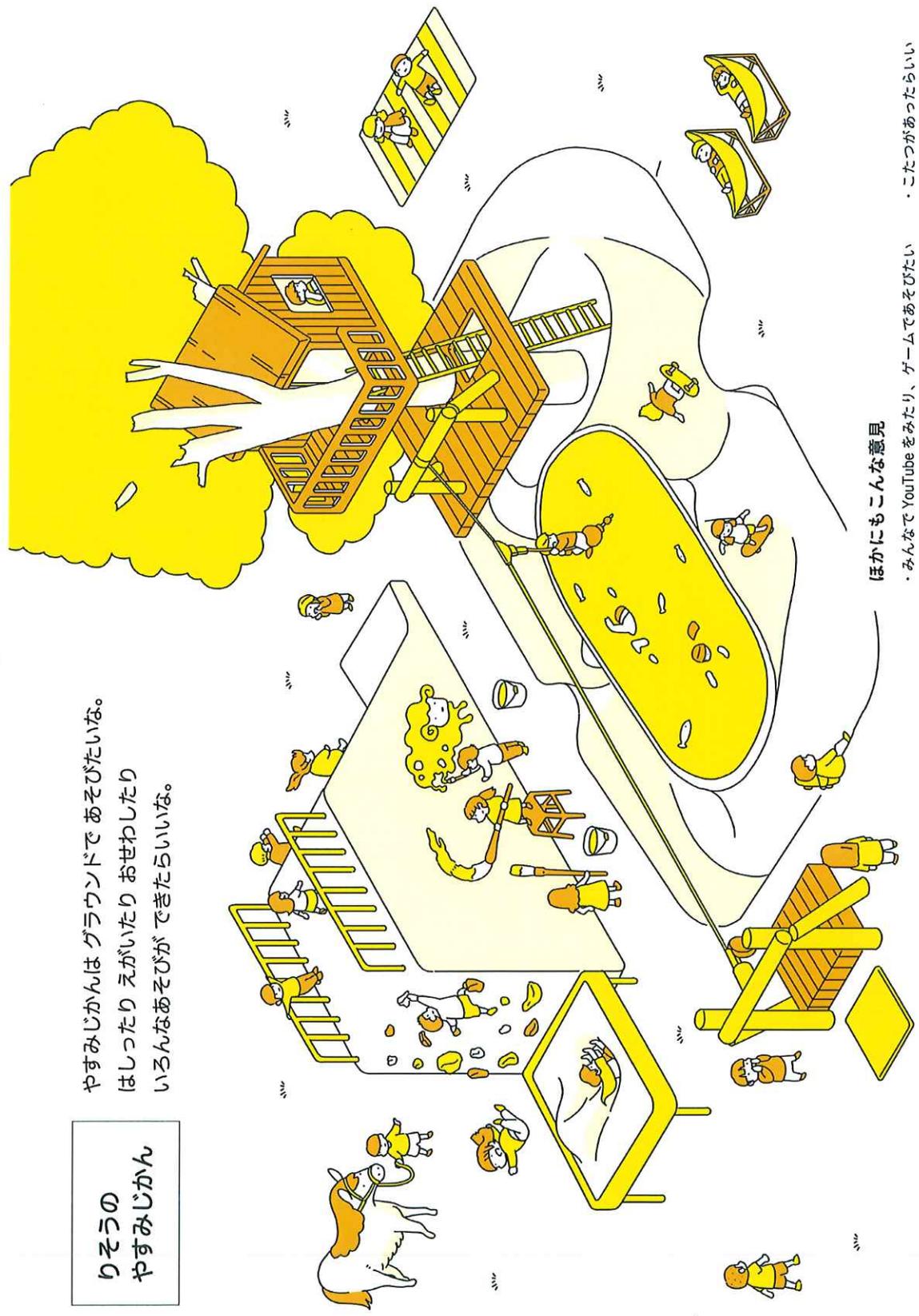


おいしいきゆうしよくを

どんなふうにつくるかみれるといいな。

りそらの  
やすみじかん

やすみじかんは、グラウンドであそびたいな。  
はしたり えがいたり おせわしたり  
いろんなあそびが できたらいいな。

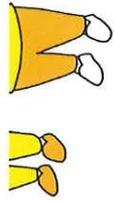


ほかにもこんな意見

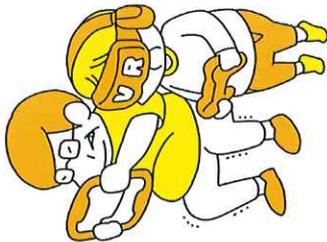
- ・みんなで YouTube をみたり、ゲームであそびたい
- ・ボールプールであそびたい
- ・こたつがあったらいい

りそうの  
ほうかご

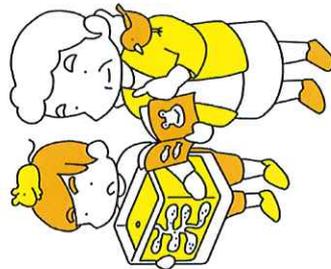
すぎなぶかつがあつたらいいな。  
こどももおとなもいっしょになって、  
すぎなことをきわめたいな。



ばすけ



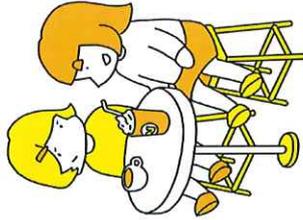
げーむ



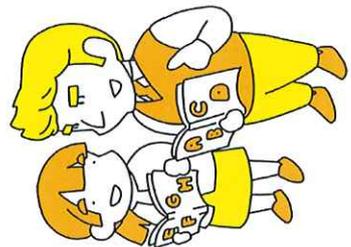
いきもの



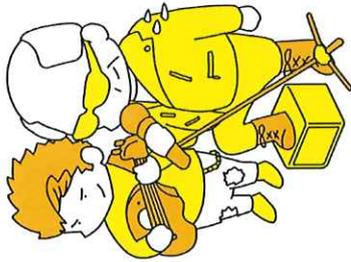
たざとま



かいえ



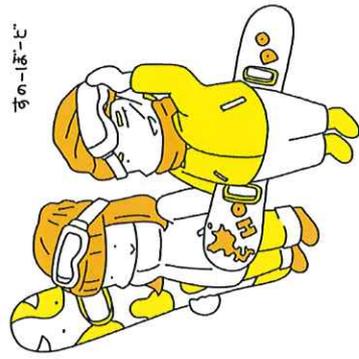
ごかく



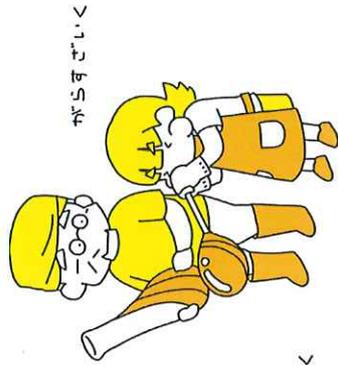
おんがく



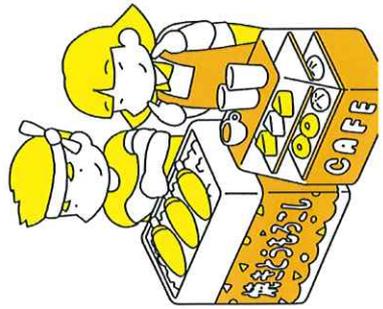
たさめつ



ずのふーど



がらむせいく



ひあわ  
16

## 2-1 2022 年度の協議会およびワークショップの実施概要

### (1) 中頓別学園設置協議会

令和4年8月から10月の期間において、計3回の中頓別学園設置協議会を実施した。

表 16. 中頓別学園設置協議会概要

回	日程	内容
第1回	令和4年 8月9日(火) 13:30~14:45	・協議会委員のご紹介 ・新しい学校づくりに関するこれまでの経緯の説明 ・意見交換
第2回	令和4年 9月16日(金) 13:30~15:45	・文部科学省による事業の説明 ・有識者のご紹介 ・新しい学校づくりに関するこれまでの経緯の説明 ・コミュニティスクールに関する意見交換 ・牧野教授による話題提供および質疑応答
第3回	令和4年 10月14日(金) 18:30~20:30	・牧野教授による話題提供 ・教育理念に関する意見交換 ・長澤教授による話題提供

表 17. 中頓別学園設置協議会委員一覧

項目	委員氏名	所属
有識者	牧野 篤	東京大学大学院教育学研究科教授
	近藤 哲也	ICT有識者(東京工芸大学)
	長澤 悟	東洋大学名誉教授
委員	遠藤 義一	中頓別町副町長(総務課長)
	相座 豊	中頓別町教育委員会教育長
	石井 英正	中頓別町教育委員会教育長職務代理者
	東海林 繁幸	中頓別町自治振興会連合会長
	小林 清一	中頓別中学校長
	宮崎 哲也	中頓別小学校長
	大島 朗	中頓別町認定こども園
	五十嵐 龍彦	中頓別中学校 PTA 代表
	澤里 尚広	中頓別小学校 PTA 代表
	田邊 正年	中頓別町認定こども園 PTA 代表
	福島 靖弘	社会教育委員長
	櫻田 教昭	スポーツ推進委員長
	小倉 弘	中頓別町教育委員会教育委員
	宗像 育美	中頓別町教育委員会教育委員
	土屋 順一	中頓別町役場建設課長
	平中 敏志	中頓別町役場産業課長
	野田 繁実	中頓別町役場政策経営室参事
長尾 享	中頓別町教育委員会新しい学校づくり推進室長	
小林 美幸	中頓別町教育委員会教育次長	

	荒井 宏太	中頓別町教育委員会社会教育主事
	後藤 浩一	中頓別町教育委員会主幹
	炭谷 祐真	中頓別町教育委員会主事

表 18. 協議会で出された意見・質問（抜粋）

	項目	内容	
第1回	意見	地域住民がワクワクする利用価値の高い施設になることに期待したい。	
		東京のように何でもテクノロジーベースの教育ではないところが中頓別の魅力であると思う。国際化の風潮と併せて、中頓別独自の教育スタイルを生み出していけたら良いのではないかな。	
第2回	意見	道外や海外から来たいというニーズがあると思う。施設を整え、半年でも3ヶ月でも留学という形で通わせることができれば、対外的なアピールポイントになり、ここに暮らしている子どもたちも刺激になるのではないかな。	
		質問	小中学校両方の免許を持つ先生を増やすための仕組みは考えているか。
第2回	意見	地域の大人と接することで、危ないことや、してはいけないことを自然と身につけ成長してほしい。	
		地域の教育力を高めることが、学校の教育力を高める。地域の住民の方が自分達を高め合うことが、学校の力を高める。	
		子どもたちに生きていく意味や地域の人材について伝えるためには、子どもたちとのコミュニケーションが大事である。また、地域の色を子どもたちと一緒に作り上げる仕組みが重要なのではないかな。	
		できないことはできないと大人も言っていていいと気がついた。	
		学校の教育力を高めるには、地域の教育力を高めることが大事である。	
		子どもたちの人間の価値を認めてあげたい。	
		中学生の生徒会が協議会に参加しても良いのではないかな。	
第3回	意見	地域の理念	学びあい・教え合うことで互いに支え合い、まちを生涯を作りあう。
		共生	たくさんの人と出会える学校。
			世代を超えて一緒に遊べる空間。
			学んでみたいことを地域の人に教えてもらうことができるつながりがあるといい。
			得意なスポーツや囲碁・将棋などを教えてもらいたい。
			他地域とのふれ合いがあるといい。
			こども園×中学生、小学生×中学生、こども園×小学生などタテ・ナナメの関係が大事。
			異年齢（大人とこども、高齢者）が交流しながら学び合える場。
			地域ボランティアを拡大する。
			どんな人がいて自分とどう関われるのか知れるといい。
			こども園と老人ホームが一体化するのいいのではないかな。
			どんどん声を上げていって人同士がつながるのが一番大切。
			自然を使った遊び、学びなどを自分がやりたいときに誰が教えてくれるのかわからない、という時に人材を見つけてつないでくれるようなシステムがあったらいい。
			自分らしさを認めてもらえると自分らしくいられる。

		英語が必要な仕事を作る。
新しい時代の学び		子どもの大好きが見つかる、子どもの大好きがあふれている場になるといい。
自然		木のことも学べるといい。
		畑のことを教えてもらいたい。
		自然との触れ合いが少なくなってしまったように思う。ふれあいの場が巣なくなってきているのは寂しい。
		町の自然を本当に住民は理解できているのか疑問である。
		カーボンニュートラルに対応した学校づくりと子どもたちへの意識づけを。
		自然を生かした学びの場。
		自然から「生きる」ことを学ぶ場。住んでいてもわからない自然のよさを学ぶ。
	共創空間	
		地域の人の教育のコーディネート。
		教育資源の活用
社会教育		中頓別がどうやって成り立ち大きくなったか、なぜ小さくなっていったのかを改めて子どもたち・地域の人たちが学び、これから中頓別をどうしていきたいのか、どのようなことができるのかということ学ぶべきではないか。
		まちの良さをどのように子どもたちが学ぶか、大人を含めてどう学んでいくかということがこれから鍵になるのではないか。
		学校教育と社会教育の接点とその必要性の理解ができていない。
		時間にとらわれず地域の方と学べる環境。
		町民（大人）が生徒として毎日授業に出る。
その他		まちにはどのような仕事があるのか子どもが知れるといい。
		行きづらいつころだから、行きたいと思った人しか来ない良さがある。移住してきた人にまちの良さを聞く機会を作る。
		ふるさとに対して良いところなどあまり出てこないように思う。
		思いっきり体を動かせる。スポーツができる。
		多人数やチームでできるスポーツができるといい。
		アートがあふれている空間。
		先生が楽になれる空間づくり。
		まちにはどのような仕事があるのか子どもが知れるといい。
		中頓別にはない仕事につきたいと思った時にそれを実現する流れが見えない。いろんな人を呼び込むことでいろんな生き方に触れるチャンスが生まれる。その際に外から来た人が住める住宅の確保が必要である。
		先生が楽になれる空間づくり。
		起業の際の条件として、家賃や出費の少なさは魅力である
		中頓別の子どもたちは、学校へ行くのを嫌がってはいなく、喜んで学校へ行っているように思う。
		子どもたちは進んであいさつをしてくれるが、大人の方があまり挨拶をしないように思う。
		楽しい学びの場をつくりたい。

## (2) 町民ワークショップ

令和4年10月に全2回の町民ワークショップを開催した。第1回ワークショップでは、3-5人で構成されたグループに分かれ、謎解きゲームの形式で人生100年時代を生きる上で大事にしたい力、中頓別町でできたらいい学びのアイデアについて意見交換をした。また、第2回ワークショップでは、町民文化祭にてアンケートおよび対面にて町民の好きなこと・得意なことを聞き、新しい学びの場にならたらいい施設の機能について考えた。



表 19. 町民ワークショップの実施状況と内容

回	日程	ワークショップ名	内容詳細
第1回	令和4年 10月7日(金) 10月8日(土) (全4回)	ミスターダリンと謎の怪人R	3-5人のグループに分かれ、謎解きゲームの形式で人生100年時代を生きる上で大事にしたい力、中頓別町でできたらいい学びのアイデアについて意見交換をした。
第2回	令和4年 10月29日(土) 10月30日(日) 10:00~17:00	新しい学びの場づくり 特設ブース @町民文化祭	アンケートおよび対面にて、町民の好きなこと・得意なことを聞き、新しい学びの場にならたらいい施設の機能について考えた。

表 20. 第1回町民ワークショップの意見(抜粋)

項目	意見
自然や歴史 地域に学ぶ	中頓別ならではの山などを使って学べるといい。
	自然の中で学ぶことで、一緒に自然の中で楽しみながら学ぶことができたり、新しい植物を見つけたりすることができる。
いろいろな人との 交流	地域の人と応援し合って仲を深めあえるといい。
	これから大人になるごとにたくさんの人と関わっていくことが多くなるので、いろいろな人と関わりながら自分らしさを見つけたい。
	地域の大人から、実際にお店を運営することで学べることもあるかもしれない。
	いろいろな人に情報をもらうことで、迷ったら選ぶ力にもつながるのではないかな。
	他の学年や違う年齢の人との価値観を共有して、学ぶことは大事。
好きなことを	いろいろ知っている先輩と学ぶと、いろいろ違う意見が聞けていい。
	人は好きなことを楽しめることが一番大切。

探求する	自分が得意なことや好きなこと、自分が面白いことを楽しんでやりたい。
	好きなことを探求することで、自分の好きなことがわかったり、同じ趣味とわかることでたくさんの世代の人と関わるができる。
	好きなことを探求することは、学びやすい。
	好きなことを探求すると笑顔になれる。
進路	進路や勉強で迷ったりしたら自分で解決するために、迷いや不安があっても自分で決める力をつけたい。
	自分で選んだ道を他の人に変えてもらうのではなく、自分の思い通りの道を歩むことで、自分の考えを他の人に説明する力や他の人の話を受け入れる力がつく。

### (3) 教職員ワークショップ

令和4年10月7日(金)に小中学校の全教職員を対象としたワークショップを開催した。ワークショップではグループに分かれ、新しい学校校舎や教育施設のハード面について意見を交換した。

表 21. 教職員ワークショップの意見

項目	意見
校舎	防災面を考えると3階建てで、屋上があるとよい
	車椅子や松葉杖でも2階に上がりやすい配慮を
トイレ・水回り	トイレ・水飲み場の数が人数のわりに少ないので多く
	教室の近くにトイレが欲しい
	トイレは少なくとも1か所の多目的トイレを（可能なら男女別）
	避難所機能を持ったシャワーブースがほしい
	トイレの数は多いほうがいい。1年教室に近いほうがいい
通常学級	ボタン1つで教室からオンライン授業ができるシステムがほしい。席者のために、授業や板書を保存できるシステム
	広さは今以上を確保してほしい
特別支援学級	支援学級教室は普通学級教室と離す
	他の児童生徒から目につかない教室も必要
集会スペース	ミニ集会スペース（体育館を使うほどでない時や冬季に利用）
フリースペース	多目的に使えるフリースペースがあるとよい
	簡単に少人数できるように、使い勝手のいい部屋があるといい
職員室・教材庫	教材室・物品庫は各階に必要
	トレーニングルームぐらいのミーティングルーム（会議室・視聴覚室）があるといい
	全体的に収納スペースがほしい
体育館	体育館は2つは必要。必要場面がたくさんあると考えると大きさは別でも2つあると活用しやすい
	体育館に用具の収納場所が必要
	体育館に水飲み場とトイレが必要

	休み時間の子どもの過ごし方を考えると体育館ひとつでは足りない。体を動かせないストレス
	体育館トイレは、外から直接出入りしやすい工夫を
	体育館ステージ前は発表時を考えて明るくする
	町民センター大ホールのプーリング化、町民体育館を改築してほしい
トレーニングルーム	トレーニングルームは不要
	トレーニングルームは何をやる場所か
音楽室	音楽室が2つ、または音楽室としても使える場が2つあるとよい（防音あり）
	楽器が練習できるスペースが欲しい
理科室	使用器具が違うため、理科室は2つあるとよい。大きさは小さくてもよい。
	理科室には収納スペースが欲しい
	2階建ての場合は机の高さなどを変え1つで工夫する。準備室は広めがいい
外国語教室	外国語教室はいらないのではないか。
セキュリティ	図書ゾーン含めセキュリティは大丈夫か。生徒の安全のため電子施錠があるといい
保健室	ケガや体調不良の際に1階で使える保健的な処置ができる教室があるとよい。グラウンドや体育館に近いところが良い
	保健室の位置は1階が良い。3階は厳しい
給食センター	給食はどのように運ぶのか
	給食センターと校舎の間に渡り廊下はつけられないか？校舎側に普通教室がなくほんのわずかな距離にわざわざトラックを出すこと、下膳の都合も考えて
ランチルーム	ランチルームは不要
	ランチルームで生徒全員食べるのか。時間的・空間的に厳しいのではないか
	ランチルームをなくして使い勝手のいい教室にするべき